

一般社団法人

自立生活サポートセンターいっぽいっぽ
とは？

私たちは、2009 年 8 月に地域に事務所を構えた沖縄県内初の社会福祉士事務所いっぽいっぽとして誕生し、特定非営利活動法人いっぽいっぽの会を経て、現在に至っています。

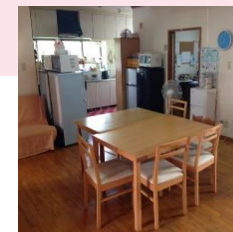
元々は、生活困窮者支援の団体として出発した経緯から、障害者グループホームを開設し、生活困窮を抱えながら何らかの障害をお持ちの方、または、日常的な生活支援が必要な方へ生活の場の提供と創造を通して、地域における自立生活のサポートを行っています。

障害があってもなくても生き活きと暮らせる社会、そして、日本国憲法第 25 条が保障する生存権の実現をめざします。

902-0077 沖縄県那覇市長田 2 丁目 30 番 5 号
一般社団法人 自立生活サポートセンターいっぽいっぽ
電話 098-914-4060 Fax 098-914-4060
代表理事 高木 博史

一般社団法人
自立生活サポートセンター

いっぽいっぽ



地域での自立生活をサポートいたします！

URL <http://ippoippo.sakura.ne.jp>



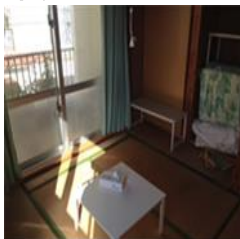
事業紹介

■ 障害者総合支援法指定 共同生活援助事業所いっぽいっぽ (障害者グループホーム)

あゆみ荘(最大定員 2 名)



外観 (2F 部分です)



居室

主な設備

エアコン(リビング)、バス・トイレ(別)、洗濯機、冷蔵庫、世話人室など。

閑静な住宅街の中にあり、最大 2 名定員で落ち着いた生活を望まれる方に向いています。

ふくぎ荘(最大定員 4 名)



外観



リビング

主な設備

エアコン(全室)、バス・トイレ(別)、洗濯機、冷蔵庫、相談室など

広いリビング空間でゆっくりとした雰囲気でご過ごすことができます。また、大通りにも近く買い物等にも便利です。

※両ホームとも那覇市内にあり生活に便利で、他の事業所への就労など日中活動を組み立てる上での選択肢も豊富です。

地域生活への道をサポート

障害があつたり日常的なサポートが必要であつたとしても地域生活への道は開かれています。

当法人のグループホームは、いわゆる「終の棲家」ではありません。落ち着いた雰囲気の中で、1年～2年程度を目標に自立生活に向け就労したり生活訓練を行いたいという意欲のある方の生活を社会福祉士等の専門職も含めたスタッフがサポートいたします。

また、できるだけ自由な雰囲気の居住空間を提供したいと考えており、基本的に、食事の提供は行わず(必要に応じて支援する場合があります。)、門限や喫煙等についても自己管理としております。(ただし、個別支援計画等の中に盛り込む場合を除きます。)

当法人のグループホームは、シェアハウス方式であり、集団生活の中でお互いの人間性を高め合うことも目的としています。

グループホームでの生活を体験していただくことで生活の見通しを立てていただくための体験入所も実施しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

※他の入居者の方や職員への暴言、暴力、犯罪行為等の恐れがあるなど、集団生活における最低限のルールが守れない方の入居はお断りする場合がございます。

■ 貧困問題の解決に向けての取り組みを進めます！

自立生活サポートセンターいっぽいっぽの前身は、生活困窮者支援の団体であり、総合相談支援事業を行ってきました。

当法人は、こうした経験を活かし、沖縄県における貧困問題解決のための取り組みを進めていきます。

具体的には不定期の学習会の開催やレクリエーション、サロン等の実施による社会的孤立の防止への取り組みを進めていきたいと考えています。

障害者グループホーム見学・入居相談等 随時受付中！

一般社団法人自立生活サポートセンターいっぽいっぽでは、施設の見学や入居相談を随時受け付けております。

【入居相談等電話番号】

098-914-4060

